

- 問1 チグリス川とユーフラテス川の流域で栄えた古代文明において、粘土板に刻んで使用された文字と、のちに全土を統一した王によって制定された「目には目を、歯には歯を」という報復の原則で知られる法典の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
1. 象形文字 — 十二表法 2. 楔形文字 — ハムラビ法典 3. 楔形文字 — 十二表法 4. 象形文字 — ハムラビ法典
-
- 問2 日本列島の旧石器時代における人々の生活環境や道具について述べた説明として、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
1. 表面を磨いて形を整えた磨製石器を使い、木を加工して家を建てた。 2. 大陸から稲作の技術が伝わり、大規模な環濠集落が形成された。 3. 土器を使用して食物を煮るようになり、定住生活が始まった。 4. ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。
-
- 問3 紀元前16世紀ごろ、中国の黄河流域におこった古代国家において、神への問いかけや占いの結果を記録するために、亀の甲羅や牛の骨に刻んで使われていた文字を何と言いますか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)
1. インダス文字 2. 象形文字 3. 楔形文字 4. 甲骨文字
-
- 問4 古代文明において使用された文字やその特徴に関する記述として、チグリス川・ユーフラテス川流域の文明に該当する説明を選びなさい。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
1. 牛の骨や亀の甲羅に文字を刻み込み、主に政治のゆくえを占うために利用した。 2. 粘土を固めた板の上に、尖ったペンで三角形の跡を組み合わせるようにして文字を記録した。 3. 正方形の印章（スタンプ）に、動物の図像とともに刻まれたが、現在も解読が進んでいない。 4. バビルスと呼ばれる植物から作られた紙のようなものに、鳥や太陽の形を模した文字を書いた。
-
- 問5 ローマ教皇を頂点とするキリスト教の宗派で、中世ヨーロッパにおいて、教会の組織を通じて政治や人々の生活など、社会のあらゆる面に多大な影響力を及ぼした組織を何と言いますか。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
1. 正教会 2. カトリック 3. 仏教 4. プロテスタント
-
- 問6 古代中国の王朝である殷（商）において、政治のあり方と文字の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. 粘土板に刻まれた楔形文字を用いて、目には目を、歯には歯をで知られる法典が記された。 2. 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。 3. 木簡や竹簡に墨で文字を書く技術が広まり、律令に基づいた法治国家の基礎が築かれた。 4. バビルスに記録された象形文字を用いて、ナイル川の氾濫を予測する天文学が発達した。
-
- 問7 古代文明とその特徴を説明した文として、ナイル川流域で栄えた文明に当てはまるものはどれですか。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. 黄河や長江の流域で起こり、甲骨文字や青銅器が作られた。 2. 定期的な増水を利用して農耕を行い、太陽暦や象形文字が作られた。 3. インダス川の流域で栄え、モヘンジョ・ダロなどの都市遺跡が造られた。 4. チグリス川とユーフラテス川の流域で発展し、太陰暦や楔形文字が使われた。
-
- 問8 古代エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫の時期を予測する必要から天文観測が発達しました。この文明で生み出された、1年を365日とする暦と、王の記録や寺院の壁画などに刻まれた象形文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
1. 太陰暦と神聖文字（ヒエログリフ） 2. 太陽暦と甲骨文字 3. 太陰暦と楔形文字 4. 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）
-
- 問9 インド北西部の遺跡から、建物や水路が計画的に配置された都市の跡が発見されている文明について、その文化的な特徴を説明したものとして正しいものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
1. 亀の甲羅や動物の骨に、漢字の原型となる甲骨文字が刻まれた。 2. くさび形文字を粘土板に刻み、太陰暦や六十進法が考案された。 3. 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。 4. ナイル川の氾濫を予測するために太陽暦が作られ、象形文字が使用された。
-
- 問10 中国の遺跡から出土した、白く平らな骨の表面に、直線で構成された細かな記号が多数刻まれている資料があります。この資料が作成された背景や特徴について述べた文として、正しいものはどれか次の中から選びなさい。 (2020年 新潟県公立入試 類似)
1. 漢の時代に、シルクロードを通じて伝わった西方文明の文字を模写した。 2. 秦の始皇帝が、全国で異なる文字が使われないよう、竹簡に統一した文字を記した。 3. 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。 4. 周の時代に、役人が広大な領土を管理するための法律を粘土板に刻んだ。
-
- 問11 西アジアのチグリス川とユーフラテス川の流域で発達し、現在のイラク付近に位置した古代文明において、粘土板に刻んで使われていた文字と、月の満ち欠けに基づいた暦の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 岩手県公立入試 類似)
1. 象形文字と太陰暦 2. くさび形文字と太陰暦 3. くさび形文字と太陽暦 4. 象形文字と太陽暦
-
- 問12 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。 (2025年 大阪府公立入試 類似)
1. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料 2. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料 3. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料 4. バビルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料
-
- 問13 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけにより、キリスト教の聖地であるエルサレムをイスラム教勢力から奪還することを目的に組織された軍隊を何と言いますか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. ルネサンス 2. 宗教改革 3. 十字軍 4. 異端審問
-
- 問14 7世紀初めのアラビア半島において、ムハンマドが唯一神アッラーの啓示を受けたとして開き、現代でも世界中に多くの信者がいる宗教は何ですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)
1. キリスト教 2. 仏教 3. ヒンドゥー教 4. イスラム教

答え合わせ・解説

問1	答え 2 楔形文字 — ハンムラビ法典	メソポタミア文明では、シュメール人が楔形文字を発明し、身近に得られた粘土を板状にしたものに記録を残しました。また、バビロニアのハンムラビ王は、領土内の秩序を維持するために、犯罪に対して同等の罰を与える原則を含むハンムラビ法典を編纂し、中央集権的な国家の基礎を築きました。象形文字はエジプト文明、十二表法は古代ローマの法典であるため、これらとは区別が必要です。
問2	答え 4 ナウマンゾウなどの大型の動物を追い、移動しながら生活していた。	旧石器時代は氷河時代とも重なり、日本列島が大陸と陸続きになる時期がありました。当時の人々は打製石器を用い、食料となるナウマンゾウやヘラジカなどの大型動物を追って移動を繰り返す生活を送っていました。土器の使用や定住生活が始まるのは、気候が温暖になった後の縄文時代からです。
問3	答え 4 甲骨文字	古代中国の殷では、政治の重要な決定を占いに頼っており、その内容を記録した文字が現在の漢字の原型となりました。エジプトの象形文字、メソポタミアの楔形文字、インダス文明のインダス文字など、他の古代文明で使われていた文字との違いを区別しておく必要があります。
問4	答え 2 粘土を固めた板の上に、尖ったペンで三角形の跡を組み合わせるようにして文字を記録した。	メソポタミア文明が栄えた地域では、紙の原料となる植物が乏しかった一方で、良質な粘土が豊富に存在していました。そのため、粘土板に葦の茎などを押し当てて書くくさび形文字が普及しました。他の選択肢は、順にエジプト文明、中国文明、インダス文明の特徴を示しています。
問5	答え 2 カトリック	中世ヨーロッパでは、ローマ教皇を首長とするカトリック教会が精神的な支えとしてだけでなく、政治的にも大きな権威を持っていました。これに対し、16世紀の宗教改革以降に誕生した宗派をプロテスタント、ビザンツ帝国を中心に発展した宗派を正教会と呼び、区別されます。
問6	答え 2 亀の甲羅や牛の骨に占いの結果を刻む甲骨文字が使われ、それが漢字の原形となった。	殷の時代は、王が占いによって国政の重要事項を決定する神権政治が行われていました。その占いの道具として亀の甲羅や動物の骨が使われ、そこに刻まれた「甲骨文字」が現在の漢字のルーツとなりました。他の選択肢は、エジプト文明やメソポタミア文明、あるいは後の時代の中国の制度に関する説明です。
問7	答え 2 定期的な増水を利用して農耕を行い、太陽暦や象形文字が作られた。	ナイル川流域で栄えたエジプト文明では、定期的に起こる川の増水を利用して農業が行われ、太陽暦や象形文字が発明されました。その他の選択肢は、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明の説明となります。
問8	答え 4 太陽暦と神聖文字（ヒエログリフ）	ナイル川の氾濫はエジプトの農業に不可欠であり、その時期を正確に知るために太陽の動きを基にした太陽暦が作られました。この暦は後にローマで採用され、現在の暦の基礎となりました。また、ピラミッドや神殿の壁面に刻まれた文字は、象形文字の一種である神聖文字（ヒエログリフ）と呼ばれます。選択肢にある太陰暦や楔形文字はメソポタミア文明、甲骨文字は中国文明の特徴です。
問9	答え 3 象牙や石で作られた印章に文字が刻まれているが、現在も解読されていない。	インダス文明では、独自のインダス文字が使用されていましたが、他の文明の文字との比較研究が進んでいないため、未だに解読されていません。選択肢にある他の特徴は、エジプト、メソポタミア、中国の各文明のものです。
問10	答え 3 殷の王が国を治める際、神の意思を問う占いの内容を記録するために刻んだ。	殷の時代は神権政治が行われており、戦争や祭祀、農作物の収穫などの重要な事柄はすべて占いによって決められていました。出土した骨に刻まれている直線的な記号は、占いという宗教的な行為を記録するための甲骨文字であり、当時の王権が宗教的な権威に基づいていたことを裏付ける貴重な史料となっています。
問11	答え 2 くさび形文字と太陰暦	西アジアの「肥沃な三日月地帯」で成立したメソポタミア文明は、チグリス川とユーフラテス川という2本の河川の恩恵を受けて発展しました。この文明では、乾燥させた粘土板に葦の茎などで刻む「くさび形文字」が発明され、記録や商取引に利用されました。また、天体観測により月の満ち欠けを基準とする「太陰暦」が作られ、これが後の暦の基礎となりました。ナイル川流域のエジプト文明（象形文字・太陽暦）と知識が混同されやすいため、河川の名前と文化の特徴をセットで整理することが重要です。
問12	答え 3 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知るができる一級の史料となっています。
問13	答え 3 十字軍	聖地エルサレムの奪還を目的として、11世紀末から約200年にわたって派遣された軍事遠征の名称です。この遠征の結果、ヨーロッパの人々がイスラム世界の高度な文化に触れることとなり、その後の地中海貿易の活発化や、中世ヨーロッパ社会の変容に大きな影響を与えました。
問14	答え 4 イスラム教	ムハンマドはメッカの商人の出身であり、唯一神アッラーを信仰するこの宗教を創始しました。当時のアラビア半島は多神教が一般的でしたが、厳しい修行ではなく信仰による救いを説いたこの教えは急速に広まり、世界三大宗教の一つとなりました。